

拒絶理由通知書



特許出願の番号	特願 2002-265705
起案日	平成19年 4月12日
特許庁審査官	天野 宏樹 9272 4V00
特許出願人代理人	重野 剛 様
適用条文	第29条第2項

特 許 庁 期 限
19. 6. 18

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

理 由

I. この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記の刊行物1～4に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

理由Iについて

請求項1～4

引用文献1

(特に、同文献の特許請求の範囲、【0024】～【0027】、【0051】～【0052】第7頁図2)

引用文献2

(特に、同文献の特許請求の範囲、【0004】及び【0007】)

引用文献3

(特に、同文献の特許請求の範囲、第3頁左上欄12～22行及び第3頁右下欄19行～第4頁左上欄4行)

引用文献4

(特に、同文献の特許請求の範囲、第2頁右上欄下から10～下から5行及び第2頁右下欄～第3頁左上欄実施例1)

を参照。

[備考]

引用文献1には、生物処理汚泥を加熱乾燥した後、熱処理することにより熟成コンポスト様物を製造する装置及び当該装置を用いる熟成コンポスト様物の製造方法が記載されており、当該装置を生物処理汚泥が導入され

る乾燥装置と、該乾燥装置から排出される乾燥汚泥が導入される加熱分解装置とを備えた構成にすること、また、加熱乾燥工程及び熱処理工程において粉塵が発生し、排ガスに含まれる粉塵が処理されることも記載されている。

ここで、引用文献2～4のそれぞれには、有機性廃棄物の加熱乾燥処理において、廃棄物にポリマーを添加混合した後、加熱乾燥させることにより、粉塵の発生することのない取り扱いやすい粒状に造粒されることが記載されているから、引用文献1に記載された製造方法において、粉塵の抑制を目的として引用文献2～4に記載されているように生物処理汚泥にポリマーを添加することにより、本願の請求項1に係る発明に相当する製造方法を構成することは、当業者が容易になし得たことである。

そして、本願発明の効果も、当業者が十分予測し得る程度のものであり、格別顕著なものではない。

引 用 文 献 等 一 覧

1. 特開2001-130990号公報
 2. 特開2002-205026号公報
 3. 特表平02-504359号公報
 4. 特開昭49-024757号公報
-

先行技術文献調査結果の記録

- ・調査した分野 IPC第8版
C05F, F26B, B09B, C02F11
- ・先行技術文献
特開昭53-038527号公報
特表平08-277191号公報

上記各先行技術文献には、ポリアクリルアミドを肥料成分に配合し、乾燥する工程を含む肥料の製造方法が示されている。

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。

この拒絶理由通知の内容に関して、お問い合わせまたは面接のご希望がございましたら、下記にご連絡ください。

特許審査第3部 応用有機材料 天野 宏樹

TEL 03-3581-1101 (内線 3483)

FAX 03-3581-1343